

阿賀野市小教研算数部の取組

研究テーマ 思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業

部長 伊東 麻子

1 はじめに

今年度から全面実施されている新学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・及び技能を身に付けるとともにそれを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成することが重要視されている。

そこで、算数部では今年度も昨年度に引き続き、「思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業」をテーマとし、講演会と実践発表会を通して子どもたちが意欲をもって取り組み、既習の事項を生かして発展的に考えたり、新しいものを創り出したりする力や自分の考えをより分かりやすく筋道立てて表現する力が身に付くような算数授業の在り方について研修を行った。

2 研究の概要 (会場はすべて京ヶ瀬小学校)

4月22日(木) 組織の構成・役割分担, 研究主題・事業計画の作成

6月9日(水) 講義と演習「学習指導改善調査の活用について」

講師 県小研研究推進委員 水原小学校教諭 中村 克行 様

11月29日(火) 実践発表会

3 研究の実際

(1) 講義と演習 「学習指導改善調査の活用について」

平成5年から始まった「学習指導改善調査」についてその目的が、県の学校教育の最重要課題である「確かな学力の向上」を図るための授業改善にあること、またその実際についてお話していただいた。そして、私達も実際に昨年度の問題を解き、採点をしながら、次の点について普段の授業から指導するとよいことを教えていただいた。



- ・問題解決に当たり、事柄の関係をつかむため、分かっていることを図や式に表すこと
- ・図形問題や線分図を用いた問題では、分かっている数値は全て書き込むこと
- ・考え方の説明では、根拠を明らかにすること。また、接続詞やキーワードを用いて筋道立てて説明できるようにすること。そのためにモデル文を示したり、モデル文に沿って説明文を考えたりすることが有効であること。

また、低学年のうちから、数量を正しくとらえるために基準量や等分、単位に着目するような活動や図・数直線をかく活動を取り入れ、慣れさせていくことが大切なことも学んだ。

(2) 実践発表会

部員各自が授業実践や校内研究の取組をまとめ、持ち寄った。持ち寄ったレポートをもとに発表・討議を行った。部員の取組を聞く中で、思考力・判断力・表現力の育成を図るための教材や手立ての工夫を多く知ることができ、すぐに授業に生かしていける発表会となった。

4 おわりに

講演会・実践発表会を通して、これからの私達に必要な情報と指導法を学ぶことができ大変有意義なものとなった。今後も思考力・判断力・表現力の育成を図る算数授業を目指していきたい。